

昭和十六年農林省告示第四百八十三號（小麥粉製造業者指定ノ件）

中改正ノ件（昭和十七年八月一日  
農林省告示第五百二十九號）

（道三ノ三）

有限會社愛媛縣製粉所ノ住所ヲ「松山市萱町二丁目一九番地」ニ改メ「甲府市太田町九番地 有限責任東洋堂製菓合資會社」、「德島市齊田町字北開八三番地 村永肇」、「三重縣三重郡大矢知村大字大矢知三、三〇五番地 小林三郎」、「廣島縣沼隈郡山南村字下山南七八七番地 今井恒次郎」、「廣島縣深安郡加茂村字粟根一、二番地ノ二 吉田常市」、「鹿兒島市東千石町六六番地 中尾正行」、「兵庫縣揖保郡東粟栖村平野四六〇番地 石井正夫」及「宮崎縣東臼杵郡富島町大字細島六六七番地ノ一 有限會社富島製粉所」ヲ削リ末尾ニ左ノ如ク加フ

岩手縣九戸郡種市村第二三地割三九番地

宮城縣刈田郡白石町字本町九三番地

郡山市字垣越町四八番地

郡山市堂前町六九番地

福島縣北會津郡東山村字石山甲七八五番地

福島縣安達郡二本松町字根崎一ノ三三番地

福島縣信夫郡杉妻村大字郷野目字寶來町二番地

庭製粉工場

宮城製粉有限會社

有限會社郡山製粉所

有限會社安積製粉所

會津製粉工業有限會社

有限會社二本松製粉所

有限會社信達製粉所

第八條關係

二二〇七七

0132

福島縣西白河郡白河町字天神町五六番地  
 茨城縣久慈郡太田町一九九番地ノ三  
 埼玉縣大里郡深谷町大字深谷二〇七番地  
 甲府市太田町九番地  
 桑名市大字八坂町一、九二四番地ノ一  
 桑名市大字福島九一六番地  
 三重縣三重郡大矢知村大字大矢知三、三〇五番地  
 大阪府北河内郡津田町大字津田四九五番地  
 岡山縣淺口郡玉島町大字上成一〇二番地  
 尾道市十四日町六〇四番地  
 廣島縣深安郡加茂村字粟根一二一番地ノ二  
 吳市仁方町一、五四三番地  
 廣島市石見屋町四六番地  
 福山市上魚屋町二三六番地ノ二  
 廣島縣沼隈郡千年村二、七六〇番地  
 廣島縣沼隈郡熊野村七九番地  
 廣島縣深安郡湯田村字湯野一、八四〇番地  
 廣島縣沼隈郡山手村三、五三九番地ノ一  
 廣島縣蘆品郡新市町五七九番地ノ二  
 廣島縣蘆品郡岩谷村父石一四七番地ノ一

有限會社白河合同製粉工業所  
 伊勢又米穀製粉株式會社  
 深谷報國製粉有限會社  
 東洋堂製菓合資會社  
 北勢製粉有限會社  
 有限會社桑名製粉所  
 小林 幸三  
 有限會社浪速製粉所  
 中備物産有限會社  
 備後製粉有限會社  
 吉田 吉市  
 碓井 中日  
 廣島製粉有限會社  
 深安製麵工業小組合  
 備南製麵工業小組合  
 沼南製麵工業小組合  
 共榮製麵工業小組合  
 東和製麵工業小組合  
 富士製麵工業小組合  
 芦田製麵工業小組合

二三〇ノ八

0133

(追三ノ三六)

福山市東町六六八番地ノ二  
 三原市西町二、〇七四番地ノ一  
 廣島縣沼隈郡水呑村一九五番地  
 廣島縣深安郡御野村字上御領七六二番地ノ一  
 德島市常三島町字常三島八四番地ノ一  
 高松市塩屋町二番地  
 香川縣三豊郡粟井村一、二八五番地  
 香川縣三豊郡粟井村二、二二七番地  
 香川縣三豊郡上高瀬村大字新名一、二四六番地ノ一  
 香川縣三豊郡財田村大字財田中三二〇番地  
 香川縣三豊郡大野原村大字中姬一、六〇六番地  
 香川縣香川郡安原村大字安原下第三號六四五番地  
 丸龜市塩屋一〇三番地  
 香川縣綾歌郡山内村大字新名四三一番地ノ一  
 香川縣綾歌郡府中村一、二一四番地  
 香川縣木田郡下高岡村二、四〇二番地ノ二  
 香川縣小豆郡土庄町甲六六〇番地ノ三  
 香川縣小豆郡大鐸村大字黒岩二七九番地  
 香川縣小豆郡池田町大字中山二、二五〇番地  
 香川縣小豆郡池田町大字池田二、〇〇八番地

第八條關係

清水 實  
 眞島 範春  
 山陽製麵有限會社  
 御領麵業有限會社  
 西谷 菊次  
 有限會社高松製粉所  
 有限會社南和製粉所  
 有限會社豐國製粉所  
 有限會社三豊製粉會社  
 有限會社鮎川製粉所  
 有限會社三和製粉所  
 有限會社香南製粉所  
 有限會社丸龜製粉所  
 有限會社山端製粉所  
 有限會社綾川製粉所  
 有限會社旭製粉所  
 有限會社仙島製粉所  
 有限會社大鐸製粉所  
 有限會社池田製粉所  
 有限會社小豆島製粉所

(追三ノ三九)

0134

二三〇ノ九

二三〇ノ一〇

香川縣小豆郡池田町大字中山七四〇番地

香川縣小豆郡大饅村大字肥土山甲三六一番地

香川縣小豆郡安田村大字安田甲一四三番地

香川縣小豆郡大饅村大字肥土山甲一、四一〇番地

香川縣三豊郡吉津村乙二、五〇〇番地

香川縣三豊郡社村二九〇番地第二

宮崎縣西諸郡小林町大字細野二、一二三番地

鹿児島市東千石町六六番地

有限會社小豆島中央製粉所

有限會社小豆島西部製粉所

有限會社内海製粉所

有限會社肥土山製粉所

讚岐米肥株式會社

植野 俊一

日本澱粉工業株式會社小林製粉工場

中尾製粉製麵有限會社

0135

(第三ノ三〇)

昭和十六年農林省告示第四百八十三號（小麥粉製造業者指定ノ件）

中改正ノ件（昭和十七年十月十二日  
農林省告示第六百七十五號）

（道三ノ六）

「水戸市南三ノ丸一〇七番地ノ八 保證責任茨城縣信用販賣購買利用組合會」、「宇都宮市埴田町三五六番地 保證責任栃木縣信用購買販賣利用組合聯合會」、「長岡市城内町二丁目七五〇番地ノ一 保證責任新潟縣販賣購買利用組合聯合會」、「甲府市橋町一八番地 保證責任山梨縣信用販賣購買利用組合聯合會」、「長野市南長野南縣町六八七番地ノ一 保證責任長野縣購買販賣組合聯合會」、「清水市日之出町二丁目三一番地ノ一 保證責任靜岡縣購買販賣利用組合聯合會」、「三重縣三重郡大矢知村大字大矢知一〇九五番地 保證責任大矢知信用販賣購買利用組合」、「兵庫縣加西郡在田村殿原大藏東七一番地ノ一 保證責任在田信用販賣購買利用組合」、「兵庫縣飾磨郡花田村小川七六九番地 保證責任花田農村信用販賣購買利用組合外一組合代表保證責任花田農村信用販賣購買利用組合」、「兵庫縣宍粟郡山崎町鹿澤本多町九三番地 保證責任山崎信用購買販賣利用組合外十九組合代表 保證責任宍粟郡農村工業購買販賣利用組合聯合會」、「兵庫縣加古郡平岡村西谷二〇六番地 保證責任平岡信用販賣購買利用組合外二組合代表 保證責任平岡信用販賣購買利用組合」、「廣島市大

第八條關係

11110ノ11

0136

手町四丁目七番地 保證責任廣島縣信用購買販賣利用組合聯合會、「德島市寺島町字本町北二四七番地ノ四 保證責任德島縣信用購買販賣利用組合聯合會」及「大分市大字大分五三四四番地 保證責任大分縣信用販賣購買利用組合聯合會」ヲ削リ末尾ニ左ノ如ク加フ

福島縣平市字正月町一三番地 有限會社磐城製粉工業所

岐阜縣羽島郡竹ヶ鼻町狐穴二九六九番地 羽島製粉所

岐阜縣武儀郡瀬尻村小瀬一六四八番地ノ二ノ二 有限會社武儀製粉所

岐阜縣多治見市中ノ郷二三八二番地 多治見共同製粉

滋賀縣中賀郡石部町大字石部四四九七番地 日昇製粉所

大津市川口町三番地一 大津製粉所

滋賀縣神崎郡能登川町大字射光寺四六番地 滋賀共同製粉所

奈良縣磯城郡朝倉村大字脇本二番屋敷 巽熊太郎

宮崎縣東諸縣郡本庄町大字本庄六九〇四番地 日東製粉有限會社

(通三ノ六三)

昭和十六年農林省告示第四百八十三號（小麥粉製造業者指定ノ件）中改正ノ件

（昭和十七年十二月二十二日  
農林省告示八百二十二號）

（道三ノ三三）

有限會社浪速製粉所ノ住所ヲ「大阪市東區豊後町二五番地」ニ改メ「宮崎縣東諸縣郡本庄町大字本庄六、九〇四番地 東諸縣製粉有限會社」ヲ削リ末尾ニ左ノ如ク加フ

福島縣耶麻郡豊川村大字米室字二本杉五、六一九番地 耶麻製粉工業有限會社

銚子市新生二丁目五五〇番地 ヤマサ醤油株式會社

徳島縣板野郡松坂村矢武字山崎二二番地 市川興一郎

第八條關係

二三〇ノ三三  
十肆ノ一七

0138

昭和十六年農林省告示第四百八十三號(小麥粉製造業者指定ノ件)中改正ノ件

(昭和十八年八月十日  
農林省告示第四百三十一號)

(通三) 一〇五

「旭川市南一條二丁目右三、四號、櫻原富藏」、「岡山縣吉備郡總社町九二三番地池上菊藏」、「廣島縣蘆品郡府中町大字府中五三六番地、小川利」及「福山市東町六六八番地ノ二、清水實」ヲ削リ  
末尾ニ左ノ如ク加フ

旭川市一條通八丁目右三號

神奈川縣高座郡御所見村瀬郷一九八番地

京都市下京區吉祥院南定成町六四番地

岡山縣吉備郡總社町九二三番地

廣島縣蘆品郡府中町大字府中五三六番地

福山市東町六六八番地ノ二

防府市大字三田尻村二二六ノ一二番地

櫻原 泰 治

神奈川製粉株式會社

京都製粉工業株式會社

池上 末 吉

明治製粉有限會社

東陽物産有限會社

金子製粉株式會社

第八條關係

三〇ノ一五

0139



小麥粉等製造配給統制規則第六條第二項ノ場合指定ノ件

(昭和十六年七月十一日  
農林省告示第四百八十四號)

販賣組合聯合會ガ小麥粉ノ製造ヲ爲シ又ハ其ノ小麥粉ヲ原料トスル物品ノ製造ヲ爲スニ付第二條第一項ノ規定ニ依リ指定小麥粉製造業者トシテ農林大臣ノ指定シタル者ニ在リテハ農林大臣、其ノ他ノ者ニ在リテハ地方長官ノ承認ヲ受ケタルトキ

0140

小麦粉製造配給統制規則第七條ノ場合指定ノ件(昭和十六年七月十一日  
農林省告示第四百八十五號)

- 一 販賣組合又ハ販賣組合聯合會ガ其ノ製造シタル小麦粉ヲ原料トシテ物品ノ製造ヲ爲スニ付第二條第一項ノ規定ニ依リ指定小麦粉製造業者トシテ農林大臣ノ指定シタル者ニ在リテハ農林大臣、其ノ他ノ者ニ在リテハ地方長官ノ承認ヲ受ケタルトキ
- 二 販賣組合又ハ販賣組合聯合會以外ノ者ガ其ノ製造シタル小麦粉ヲ賣渡シタル後之ヲ買受ケテ物品ノ製造ヲ爲ストキ
- 三 第四條但書ノ許可ヲ受ケタルトキ
- 四 試験研究又ハ自家消費ノ用ニ供スルニ付第二條第一項ノ規定ニ依リ指定小麦粉製造業者トシテ農林大臣ノ指定シタル者ニ在リテハ農林大臣、其ノ他ノ者ニ在リテハ地方長官ノ承認ヲ受ケタルトキ

電力調整令第三條ノ規定ニ依ル電燈用電力ノ消費ノ制限及當該制限ニ關

スル同令第八條ノ規定ニ依ル電氣料金其ノ他供給條件ニ關スル件

(昭和十六年十一月二日  
逓信省告示第二千二百九號)

(五三)

第一條 電力ハ左ニ掲グル程度ヲ超エテ電燈ノ用ニ之ヲ消費スルコトヲ得ズ但シ工場、鑛山其ノ他

作業場ノ電燈用ニ消費スル場合、逓信局長ニ於テ特別ノ事情ニ依リ簡別的若ハ一般的ニ當該限度

ヲ變更若ハ解除シタル場合又ハ地方長官(東京府ニ在リテハ警視總監)ニ於テ保安上其ノ他必要

ニ因リ簡別的ニ當該限度ヲ變更若ハ解除シタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

一 定額制ニ依ル電力ノ供給ヲ受クル場合 使用取附總容量ノ限度

昭和十五年二月九日ニ於ケル取附總容量四百  
ワット又ハ三百二十燭ヲ超ユルモノ(ワット  
制及燭光制ヲ併用スルモノニ付テハ一燭ヲ  
一・二五ワットトシテ計算ス) 總容量ノ百分ノ八十(四百ワット又ハ三百二十  
燭未滿ト爲ルモノニ付テハ四百ワット又ハ  
三百二十燭)

二 従量制ニ依ル電力ノ供給ヲ受クル場合

(イ) 住宅用 消費電力量ノ限度(一月當リ)

取附總數(休止燈ヲ含マズ以下之ニ同ジ)  
十燈以上ノモノ

取附總數十燈ノ場合ハ二十五キロワット時ト  
シテ十燈ヲ超過スル場合ハ之ニ超過燈數一箇ト  
付一キロワット時ヲ加ヘタルモノ

第八條關係

二三五

(ロ) 事務所用又ハ營業用

取附總數十燈以上ノモノ

五キロワット時ニ取附總數ヲ乗ジタルモノ

(ハ) 商店用

取附總數十燈以上ノモノ

十キロワット時ニ取附總數ヲ乗ジタルモノ

(ニ) 其ノ他

取附總數十燈以上ノモノ

昭和十四年一月分ニ於ケル消費電力量ノ百分ノ七十

前項第二號ノ事務所用若ハ營業用又ハ商店用ノ區別ハ別表ニ依ル

第一項第二號(ニ)ノ場合ニ於テ昭和十四年一月分ノ消費電力量ナキモノニ付テハ逓信局長ノ指定

シタル電力量ニ依ル

第二條 前條第一項第二號ノ場合ニ於ケル消費電力量ノ量定ハ電氣供給規程ノ定ムル所ニ從ヒ當該

電氣供給事業者ノ行フ毎月ノ積算電力計ノ讀ミニ依ル

定例檢針日ノ變更ニ依リ檢針期間ノ延伸アリタルトキハ延伸日數一日ニ付三十分ノ一ノ割合ニ依

リ前條第一項第二號ノ消費電力量ノ限度ヲ増加ス

第三條 第一條第一項第二號ノ限度ヲ超エテ消費シタル電力量ニ對スル電氣料金ハ電氣供給規程ニ

(五四)

0143

規定スル料金率ニ拘ラズ一キロワット時ニ付五十錢トシテ電氣供給事業者之ヲ徴收スベシ

第四條 逓信局長ハ第一條第一項ノ限度ヲ超エテ電力ヲ消費シタル者ニ對シ電力ノ消費ノ停止其ノ

他必要ト認ムル措置ヲ命ズルコトアルベシ

第五條 電氣供給事業者ハ電燈用電力ノ消費者ニ對シ第一條第一項第二號ニ依リ當該消費者ノ消費

シ得ル月電力量ノ限度及第三條ニ依ル電氣料金率ヲ通告スベシ

附則

本告示ハ昭和十六年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十五年ニ逓信省告示第二百三十三號ハ昭和十六年十一月三十日限り之ヲ廢止ス

(別表)

事務所用又ハ營業用 一般事務所、新聞通信社、銀行、運送店、倉庫、學校、研究所、病院、醫院、公衆浴場、  
理髮店、旅館、下宿、アパート、料理店、飲食店、席貸、待合、貸座敷、遊戯場、興行場其ノ他之ニ類スル  
モノ

商店用 物品販賣業

備考 事務所用、營業用又ハ商店用ニ屬スルモノニシテ住宅用ヲ兼ヌル場合ハ夫々事務所用、營業用又ハ商

店用ト看做シ事務所用又ハ營業用ト商店用トノ何レニモ屬スル場合ハ商店用ト看做ス

第八條關係

0144

電力調整令第三條ノ規定ニ依ル電力ノ消費ノ制限ニ關シ定ムルノ件

(昭和十六年十一月二十日  
逓信省告示第二千三百四號)

(五七)

第一條 電力ハ別表ニ定ムル限度ヲ超エテ之ヲ消費スルコトヲ得ズ但シ左ニ掲グル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

- 一 逓信大臣又ハ逓信局長ニ於テ一般的又ハ簡別的ニ當該限度ヲ緩和シ又ハ解除シタルトキ
- 二 地方長官(東京府ニアリテハ警視總監)ニ於テ保安上其ノ他緊急已ムヲ得ザル必要ニ因リ當該限度ヲ臨時變更又ハ解除シタルトキ
- 三 他ヨリノ受電ニ依ラザル電力ヲ消費スルモノナルトキ

第二條 逓信局長ハ本告示ノ制限ノ實施ノ爲必要アリト認ムルトキハ電力ノ消費ヲ停止スベキ日若ハ時間ヲ指定シ又ハ日、週、旬若ハ半月ニ於ケル消費電力量ノ限度ヲ指定スルコトアルベシ

前項ノ規定ハ電氣供給事業者ヲシテ電力ノ消費者ニ對シ之ヲ通達セシム

第三條 逓信局長ハ第一條ノ規定ニ基ク限度ヲ超エテ電力ヲ消費シタル者ニ對シ電力ノ消費ノ停止其ノ他必要ト認ムル措置ヲ命ズルコトアルベシ

第八條關係

二三九

0145

第四條 電氣供給事業者ハ電力ノ消費者ニ對シ第一條ノ規定ニ基キ當該消費者ノ消費シ得ル電力ノ  
限度ヲ通告スベシ

附則

本告示ハ昭和十六年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

(別表)

地域	用途	限度
東北地方南部	第一種需用 第二種需用 第三種需用	百分ノ九 百分ノ八 百分ノ八
關東地方	第一種需用 第二種需用 第三種需用	百分ノ八 百分ノ八 百分ノ八
中部地方	第一種需用 第二種需用 第三種需用	百分ノ八 百分ノ八 百分ノ八
近畿地方	第一種需用 第二種需用 第三種需用	百分ノ八 百分ノ八 百分ノ八
中國地方	第一種需用 第二種需用 第三種需用	百分ノ八 百分ノ八 百分ノ八
九州地方	第一種需用 第二種需用 第三種需用	百分ノ八 百分ノ八 百分ノ八

備考

- 一 地域ハ昭和十五年十二月十二日逓信省告示第二百三十一號ニ依ル
- 二 用途ハ昭和十四年十二月十二日逓信省告示第三千八百十號(昭和十五年十月十日逓信省告示第二千九百五號改正)

(五三)

ニ依ル

三、限度ハ最大電力ニ付テハ法令ニ依リ認容セラレタル契約最大電力、電力量ニ付テハ昭和十六年四月乃至六月ノ月平均消費電力量、昭和十六年四月乃至六月ノ消費電力量ナキモノ又ハ特別ノ事情アルモノニ付テハ遞信局長ノ指定シタル電力量ニ依ル

四、消費シ得ベキ限度ガ検針期間中ニ於テ變更シタル場合ノ消費電力量ノ限度ノ算定ハ日割計算ニ依ル

(第五、四)

第八條關係

二四二

0147



電力調整令第三條ノ規定ニ依ル電力消費ニ關シ定メ昭和十六年逓信省告

示第二千三百四號廢止ノ件(昭和十七年三月十四日  
逓信省告示第四百十號)

(四)

電力調整令第三條ノ規定ニ依ル電力消費ニ關シ左ノ通定ム

第一條 電力(電燈用電力ヲ除ク)ハ月二日之ヲ消費スルコトヲ得ズ但シ左ニ掲グル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

一 逓信大臣又ハ逓信局長ニ於テ一般的又ハ個別的ニ當該制限ヲ緩和シ又ハ解除シタルトキ

二 地方長官(東京府ニ在リテハ警視總監)ニ於テ保安上其ノ他緊急已ムヲ得ザル必要ニ因リ當該制限ヲ臨時緩和又ハ解除シタルトキ

三 他ヨリノ受電ニ依ラザル電力ヲ消費スルモノナルトキ

前項ノ電力ヲ消費スルコトヲ得ザル日ハ逓信局長之ヲ指定ス

第二項ノ指定ハ電氣供給事業者ヲシテ電力ノ消費者ニ對シ之ヲ通達セシム

第二條 逓信局長ハ前條ノ規定ニ基ク制限ニ違反シタル者ニ對シ電力ノ消費ノ停止其ノ他必要ト認ムル措置ヲ命ズルコトアルベシ

第八條關係

二四三

0148

附則

本告示ハ昭和十七年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス  
昭和十六年十一月十一日遞信省告示第二千三百四號ハ之ヲ廢止ス

二四四

0149

昭和十七年遞信省告示第四百十號中改正ノ件

(昭和十七年八月十四日  
遞信省告示第千三百三十三號)

(追三ノ二五)

昭和十七年三月遞信省告示第四百十號中左ノ通改正シ本日ヨリ之ヲ施行ス

第一條ノ二 濁水其ノ他特殊ノ事情ニ因リ遞倉大臣又ハ遞信局長ニ於テ必要アリト認ムルトキハ期間ヲ限リ前條ニ規定スル制限日數ニ第二種需用甲類ニ在リテ八月二日、第二種需用乙類及第三種需用ニ在リテ八月三日ヲ限度トシテ追加スルコトヲ得

前條第一項但書ノ規定、同條第二項及第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八條關係

二四四ノ一

0150

昭 17 143

昭和十七年遞信省告示第四百十號(電力調整令ニ依ル電力消費ニ關シ指定ノ件)中改正ノ件  
(昭和十八年十一月一日  
軍需省告示第三號披露)

左ニ掲グル遞信省告示中「遞信大臣」ヲ「軍需大臣」ニ、「遞信局長」ヲ「軍需監理部長」ニ、「遞信省」ヲ「軍需省」ニ改ム  
昭和十七年遞信省告示第四百十號

第八條關係

三四四二ノ一

0151

(進三ノ六七)

電力調整令第三條ノ規定ニ依ル電力ノ消費制限ニ關スル件(昭和十七年九月二十三日  
逓信省告示第千三百一號)

電力調整令第三條ノ規定ニ依ル電力ノ消費ノ制限ニ關シテハ昭和十七年三月逓信省告示第四百十號  
ニ依ルノ外本告示ニ依ル

第一條 電力ハ別表ニ定ムル限度ヲ超エテ之ヲ消費スルコトヲ得ズ但シ左ニ掲グル場合ハ此ノ限ニ  
在ラズ

- 一 逓信大臣又ハ逓信局長ニ於テ一般的又ハ個別的ニ當該限度ヲ緩和シ又ハ解除シタルトキ
  - 二 地方長官(東京府ニ在リテハ警視總監)ニ於テ保安上其ノ他緊急已ムヲ得ザル必要ニ因リ當  
該限度ヲ臨時變更又ハ解除シタルトキ
  - 三 他ヨリノ受電ニ依ラザル電力ヲ消費スルモノナルトキ
- 前項ノ限度ノ基準ハ法令ニ依リ認容セラレタル契約常時電力(期間常時電力ハ其ノ受電期間中ニ  
限リ常時電力ニ準ズ)ニ對スル昭和十七年四月乃至六月ノ月平均消費電力量トス但シ昭和十七年  
四月乃至六月ノ消費電力量ナキモノ、常時電力以外ノ電力ヲ受電スルモノ又ハ特別ノ事情アルモ  
ノニ付テハ逓信大臣又ハ逓信局長ノ指定シタル電加量ニ依ル

第八條關係

二四四ノ三

0152

第二條 遞信局長ハ前條ノ制限實施ノ爲必要アリト認ムルトキハ電力ノ消費ヲ停止スベキ日若ハ時間ヲ指定シ又ハ日、週、旬若ハ半月ニ於ケル消費電力量ノ限度ヲ指定スルコトアルベシ

前項ノ指定ハ電氣供給事業者ナシテ電力ノ消費者ニ對シ之ヲ通達セシム

第三條 遞信局長ハ第一條ノ規定ニ基ク限度ヲ超エテ電力ヲ消費シタル能ニ對シ當該電力消費者ノ消費シ得ル電力量ノ限度ノ低減、電力ノ消費ノ停止其ノ他必要ト認ムル措置ヲ命ズルコトアルベシ

第四條 電氣供給事業者ハ電力ノ消費者ニ對シ第一條第二項ノ規定ニ依ル基準電力量及第一條第一項ノ規定ニ依リ消費シ得ル電力量ノ限度ヲ通告スベシ

第五條 電力消費者第一條第二項ノ基準電力量ヲ不適當トスル特別ノ事由アルトキハ前條ノ規定ニ依ル基準電力量ノ通告ヲ受ケタル日ヨリ一月以内ニ限り理由ヲ具シ當該電氣供給事業者ヲ經テ遞信局長ニ基準電力量變更方ヲ申出ヅルコトヲ得

附則

本告示ハ昭和十七年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

(別表)

用途限度

第一種需用甲類	百分ノ百
第二種需用乙類	百分ノ八十
第三種需用	百分ノ七十

東 北 地 方  
關 東 地 方  
中 部 地 方  
近 畿 地 方  
中 國 地 方  
四 國 地 方  
九 州 地 方

備考

- 一 地域ハ昭和十五年二月遞信省告示第二百三十一號(昭和十七年九月遞信省告示第千二百七十七號改正)ニ依ル
- 二 用途ハ昭和十四年十二月遞信省告示第三千八百十號(昭和十七年九月遞信省告示第千二百八十七號改正)ニ依ル
- 三 消費シ得ベキ限度ガ檢針期間中ニ於テ變更シタル場合ノ消費電力量ノ限度ノ算定ハ日割計算ニ依ル

(追三ノ二六)

0154

第八條關係

二四四ノ五

昭和十七年遞信省告示第千三百一號中改正ノ件

(昭和十八年一月二十七日  
遞信省告示第六十四號)

(通シノ三)

昭和十七年九月遞信省告示第千三百一號中左ノ通改正シ昭和十八年二月一日ヨリ之ヲ施行ス  
別表中限度ノ項ヲ左ノ如ク改ム

	限 度
第一種需用	百分ノ九十
第二種需用甲類	百分ノ七十
第二種需用乙類	百分ノ五十
第三種需用	百分ノ五十

第八條關係

二四四ノ七

0155



海運統制令第六條ニ依リ總噸數十五噸以上ノ帆船ノ内地沿岸ニ於ケル航

行ハ當該船舶所有者ノ加入スル地區機帆船海運組合ノ承認ヲ要スルノ件

(昭和十六年十二月十二日  
遞信省告示第二千四百二十三號)

(第五、四四)

0156

海運統制令第六條ニ依リ總噸數十五噸以上ノ帆船(政府ニ徵傭セラレタル船舶及漁船ヲ除ク)ノ内地沿岸ニ於ケル航行ハ當該船舶所有者ノ加入スル地區機帆船海運組合(機帆船外航統制輸送組合ニ運航委託セラレタル船舶及若松石炭類輸送用機帆船重油規正組合ニ登録セラレタル船舶ニ在リテハ全國機帆船海運組合聯合會)ノ承認ヲ受クルニ非ザレバ之ヲ爲シ得ザルコトヲ昭和十七年二月一日ヨリ之ヲ施行ス

第三〇一四号

昭和十六年十二月遞信省告示第二千四百二十三號廢止ノ件  
(昭和十八年九月十五日  
遞信省告示第千九十九號)

昭和十六年遞信省告示第二千四百二十三號ハ之ヲ廢止ス

第八條關係

0157

海運統制令第八條第一項ノ規定ニ依リ臺灣米運賃標準率指定ノ件

(昭和十六年十月三日  
遞信省告示第二千五百十二號)

(五圓、四圓)

臺灣米運賃(百斤袋一袋單位)

積地	揚地	京濱	清水	名古屋	大阪	神戸	廣島	關門	長崎
雄	隆	七六	七六	七六	七三	七三	七三	七一	七一
七八	七八	七六	七六	七六	七三	七三	七三	七一	七一
七五	七五	七三	七三	七三	七三	七三	七三	七一	七一
七五	七五	七三	七三	七三	七三	七三	七三	七一	七一

但シ  
一、積揚人夫賃船主負擔  
二、新舊麻袋 同率  
但シ舊麻袋使用ノ割合ハ五割以内トス

第八條關係

二四七

0158

海運統制令第八條第一項ノ規定ニ依リ北鮮積穀物及落物運賃率指定ノ件

(昭和十六年十月三日  
遞信省告示第二千五百三十三號)

(四七)

海運統制令第八條第一項ノ規定ニ依リ北鮮積穀物及落物運賃率ヲ左ノ通指定シ昭和十六年七月二十三日ヨリ之ヲ適用ス

一、穀物運賃(百石建)

揚地一積地	元山、興南、西湖津	城津、清津、羅津、雄基	揚地一積地	元山、興南、西湖津	城津、清津、羅津、雄基
境、新潟間各港	一八六	一八六	揚地一積地	二八一	二八一
酒田、舟川	二〇〇	二〇〇	惠須取	一八六	一九一
青森、函館、小樽	二一六	二一六	長崎	二〇三	二〇八
大泊、本斗、真岡	二三一	二三一	鹿兒島	二二五	二三〇
野田、泊居、久春内	二五一	二五一	基隆	二二一	二二六
二、落物運賃(百斤入一呎建)			高雄		
揚地一積地	元山、興南、西湖津、城津、清津、羅津、雄基		揚地一積地	元山、興南、西湖津、城津、清津、羅津、雄基	
境、新潟間各港	六九		大泊、本斗、真岡	八九	
酒田、舟川	七五		野田、泊居、久春内	九八	
青森、函館、小樽	八三		惠須取	一一〇	
第八條關係				二四九	

但シ

- 一、積揚船内人夫賃船主持ノコト
- 二、缺斤量辨金船主無關係ノコト
- 三、落物ハ麩、ヒビス、ミヨサ、糠（脱脂糠ヲ含ム）及唐筴先トス

二五〇

(四)

0160

海運統制令第八條第一項ノ規定ニ依リ臺灣米運賃率指定ノ件

(昭和十六年十二月三日  
逓信省告示第二千三百七十二號)

(五九八五)

海運統制令第八條第一項ノ規定ニ依リ臺灣米運賃率ヲ左ノ通指定シ昭和十六年十月三日ヨリ之ヲ適用ス

臺灣米運賃 (百斤入一呎單位)

積地	揚地	京濱	清水	名古屋	大阪	神戸	廣島	關門	長崎
基	隆	八七 <small>錢</small>	八七 <small>錢</small>	八七 <small>錢</small>	八四 <small>錢</small>	八四 <small>錢</small>	八四 <small>錢</small>	八二 <small>錢</small>	八二 <small>錢</small>
高	雄	八九	八九	八九	八六	八六	八六	八四	八四

但シ 積揚人夫賃船主負擔

第八條關係

二五二

0161

海運統制令第八條第一項ノ規定ニ依リ朝鮮積罾搾粕、罾魚粉及罾魚油運賃指定ノ件(昭和十六年十月二十八日 遞信省告示第二千九百九十一號)

海運統制令第八條第一項ノ規定ニ依リ朝鮮積罾搾粕、罾魚粉及罾魚油運賃ヲ左ノ通指定シ昭和十六年八月一日ヨリ之ヲ適用ス

一、罾搾粕運賃(噸建)

揚地	積地	威鏡北道	威鏡南道	威鏡北道	威鏡南道	江原道	慶尚南道	慶尚北道	釜山
		開港地	開港地	不開港地	不開港地	各港道	山ヲ除ク	釜山	釜山
關門	關門	六・四四	六・六一	七・〇〇	七・〇〇	六・四四	五・〇〇	四・〇〇	四・〇〇
阪尾	神道	六・四四	六・六四	七・三三	七・三三	六・七二	五・〇〇	四・〇〇	四・〇〇
伊勢	澁	七・三〇	七・四五	八・二四	八・〇四	七・五四	六・〇〇	五・〇〇	四・〇〇
清濱	濱水	七・八九	八・〇四	八・七三	八・三三	八・三三	六・〇〇	五・三〇	五・三〇
境、新瀨間各港(伏木、新瀨ヲ除ク)	境、新瀨間各港(伏木、新瀨ヲ除ク)	五・六六	五・八四	六・六六	六・三三	六・三三	—	—	—
伏木	伏木	五・六六	五・八四	六・六六	六・三三	六・六六	—	—	—

第八條關係

二五三

(三五)

0162

揚 地 積 地	關門	威鏡北道 開港地	威鏡南道 開港地	威鏡北道 不開港地	威鏡南道 不開港地	江原道 各港道	慶尚南道 各港除(釜山)	釜山
	阪神	六・四〇	六・四〇	七・三三	七・〇七	六・四〇	五・〇〇	四・一〇
	尾道	六・五一	六・五一	七・〇六	七・二三	六・三〇	五・〇〇	四・一〇
	伊勢	七・三三	七・三三	八・〇〇	七・五五	七・三三	六・一〇	五・一〇
	清水	七・六九	七・六九	八・三三	八・三三	七・八一	六・三六	五・三〇
	京濱	七・六九	七・六九	八・三三	八・三三	七・八一	六・三六	五・三〇
	境、新潟間各港	五・六四	五・六四	六・三六	六・三六	—	—	—

(単位)

但シ  
 (一)本運賃ハ定期船ニ限り適用ノコト  
 (二)四十才一噸トス  
 (三)一俵十一才トス  
 一、二、鰯魚粉運賃(一噸建)

青森、函館、小樽	六・六六	七・二一	七・五五	七・七〇	—	—	—
基隆	八・六三	八・七六	九・〇七	九・三三	九・三三	—	—
高雄	九・一六	九・三三	九・八〇	九・九五	九・九五	—	—

二五四

0163



青森、函館、小樽	六・九四	六・九四	七・五二	七・五二	八・八八	八・八八	九・六二	九・六二	(五三)
基隆	八・四〇	八・四〇	八・八八	八・八八	八・八八	八・八八	八・八八	八・八八	
高雄	八・四四	八・四四	九・六二	九・六二	九・六二	九・六二	九・六二	九・六二	

但シ

- (一) 本運賃ハ定期船ニ限り適用ノコト
- (二) 四十才一噸トス
- (三) 五十噸、百封度又ハ十二貫入
- (四) 六十噸又ハ十六貫入
- (五) 十八貫入
- (六) 十貫入

麻袋三才、呎入四才  
麻袋四才  
肥料呎三・五才

三、鯖魚油運賃(一噸建)

揚地	積地	威鏡北道 開港地	威鏡南道 開港地	威鏡北道 不開港地	威鏡南道 不開港地	江原 各港道	慶尚南、北 道各港(釜山除ク)	釜山
關門	關門	八・五〇	八・五〇	一〇・〇〇	九・五〇	八・五〇	五・六〇	四・六〇
阪神	阪神	八・五〇	八・五〇	一〇・〇〇	九・五〇	八・五〇	五・六〇	四・六〇
京濱	京濱	一〇・五〇	一〇・五〇	一二・〇〇	一一・五〇	一〇・五〇	七・五〇	五・九〇

第八條關係

二五五

新伏	
濁木	
	七・〇〇
	七・〇〇
	八・四〇
	八・四〇
	八・四〇
	—
	—

二五六

但シ  
 (一) 本運賃ハ定期船ニ限り適用ノコト  
 (二) 石油罐一個一才トス

(印)

0165

陸運統制令中軌道事業ニ關スル部分ノ施行ニ關スル件(昭和十七年三月二十八日  
鐵道内務省令第一號)

(五五)

第一條 陸運統制令(以下令ト稱ス)第九條乃至第十五條、第十七條(第十九條及第二十條ノ規定ニ依リ準用スル場合ヲ含ム)、第十八條(第十九條及第二十條ノ規定ニ依リ準用スル場合ヲ含ム)、第二十二條、第二十三條、第二十七條及第二十八條中軌道事業ニ關スル部分ノ施行ニ關シテハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條 陸運統制令施行規則第十五條乃至第十七條、第十八條第一號第三號、第十九條、第二十一條乃至第二十六條、第二十八條乃至第四十二條及第四十五條乃至第四十八條ノ規定ハ軌道事業ニ之ヲ準用ス但シ同規則中鐵道大臣トアルハ鐵道大臣及内務大臣トシ同規則第二十五條中地方鐵道法施行規則第十一條乃至第十四條トアルハ軌道法施行規則第八條及第九條竝ニ軌道法施行規則第二十七條ニ於テ準用スル地方鐵道法施行規則第十三條トシ同規則第二十六條中地方鐵道法第十二條、第十三條及第四十五條ノ免許、認可又ハ許可トアルハ軌道法第三條及第五條第一項ノ特許又ハ認可トス

第三條 内務大臣ガ當該官吏ヲシテ臨檢検査セシムル場合ニ於テ令第二十七條第二項ノ規定ニ依リ

第八條關係

二五七

0166

携帯セシムベキ證票ハ別記様式ニ依ル

第四條 令第二十七條第一項ニ定ムル鐵道大臣及内務大臣ノ職權ハ地方長官之ヲ行フコトヲ得

附則

本令ハ昭和十七年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

二五八

0167

(附則)

別記様式(用紙ノ大サハ日本標準規格A7トシ中央點線ノ所ヨリニツ折トス)  
(表面)

第八條關係

陸運統制令第二十七條ノ規定ニ依ル證票

二五九

(裏)

0168



陸運統制令中軌道事業ニ關スル部分ノ施行ニ關スル件中改正ノ件

(昭和十八年十一月一日  
運輸通信 内務省令第一號拔萃)

第一條 左ニ掲グル省令中「鐵道大臣」ヲ「運輸通信大臣」ニ改ム。

昭和十七年鐵道内務省令第一號陸運統制令中軌道事業ニ關スル部分ノ施行ニ關スル件

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第八條關係

〇三三〇 六七

0170